

令和6年度 新座市立陣屋小学校 学校経営計画

【教育理念】

未来を生きる子供の無限の可能性を伸ばし「**自信**」をはぐくむために

1 学校経営方針

- (1)家庭・地域の期待に応えるよう最善を尽くし、「開かれた学校」「信頼される学校」を目指す。
- (2)児童の主体性をはぐくむ授業力の向上に努め、子どもの能力を伸ばすことに全力を尽くす。
- (3)豊かな人間性を育む教育環境の整備・充実に努める。
- (4)教師自らが規範意識を高くもち、「和」を大切にし、組織で動く。

2 学校教育目標

- **かしこく**(知) 基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の向上
 - ・基礎的・基本的な学力、及び、生きて働く確かな学力を身につける子を育てる。
 - ・互いに認め合い、伝え合い、学び合い、伸び合う子を育てる。(協働的な学び)
 - ・主体的・協働的に考え、あきらめずに学び続ける子を育てる。
- **やさしく**(徳) 豊かな心と規律ある態度の育成
 - ・自他を大切にする心や協力する心を育む。
 - ・「勤勉」「規律」「誠実」を重んじる心や態度を育む。
 - ・人・自然・物に対する豊かな感性を育む。
- **たくましく**(体) 健康と体力・精神力の育成
 - ・前向きに取り組み、粘り強く努力を続ける子を育てる。
 - ・体力の向上及び健康の保持増進(健やかな体づくり)に努める子を育てる。
 - ・明るく、元気に運動を楽しむことができる子を育てる。

3 めざす学校像

かしこく やさしく たくましく 瞳いきいき 陣屋小学校
～ 地域や保護者と共にある コミュニティ・スクール陣屋 ～

- (1)地域・保護者とともに子供を育てる学校 (連携と信頼)
- (2)児童の笑顔が輝く学校 (満足感と達成感、自己肯定感)
- (3)明るく美しい学校 (学ぶ意欲の湧く環境、子供の学びが見える学校)
- (4)教職員が力を発揮し、働きがいを感じる学校 (満足感と達成感、自己肯定感)

4 めざす児童像 **「夢や希望を持ち、未来に向かって、学び合い、伸び合う子」**

かしこく(勤勉さ・判断力・表現力)

☆基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、**あきらめずに学び続ける**子

☆主体的に考え決定し、**伝え合い**ながら、**学び合い、伸び合う**子

やさしく(礼儀・相互理解と協働・豊かな感性)

☆礼儀正しく行動できる子(**あいさつ、返事、ろう下歩行**)

☆互いの気持ちを理解し、**協働的**に学校生活を送ることができる子

☆美しさを感じる豊かな心を持つ子

たくましく(健やかな体・粘り強さ)

☆運動・外遊びをとおして、**健やかな体**づくりに励む子

☆目標をもって、**粘り強く**努力できる子

5つの陣屋っ子の自信と誇り

- じ 自分も人も大切にし、学び合います。
- ん 本をたくさん読んでかしこくなります。
- や 約束を守って仲良く過ごします。
- っ 続けて勉強し努力します。
- こ 心も体もきたえます。

5つの陣屋っ子の約束

- ・すすんであいさつ、はっきりへんじ
- ・いつでも笑顔でありがとう
- ・ていねいでやさしいことばづかい
- ・右側を静かに歩く廊下歩行
- ・せっせもくもくみんなが無言清掃

5 めざす教職員像 **「チームワークで機動力を持ち、信頼される教職員」**

(1)笑顔で接する教職員 (率先垂範・健康、和と協働を大切にする)

(2)人間性豊かな教職員 (温かさと厳しさ、子供を大切にする)

(3)学ぶ喜び・わかる楽しさを教えられる教職員 (授業力、授業を大切にする)

(4)保護者・地域と共に教育活動を行う教職員 (信頼感、家庭・地域の願いを大切にする)

5つの陣屋小教職員の自信と誇り

- じ 自分から挨拶をします。
- ん 本気で子供に向き合います。
- や 約束を守って、子供の信頼を得ます。
- っ つくれます、創造的な授業を。
- こ 子供の見本となります。

6 めざす授業像 **児童が主体となり、ねらいを明確にし、学び合いのある授業**

(1) 児童が主体となる授業（見通しと課題意識、学ぶ必要感）

☆**学ぶ必要感**(知りたい、できるようになりたい等)を持たせ、解決の見通しがもてる授業

(2) 学び合いのある授業（協働的な学習の設定、言語活動の充実）

☆「教師⇄児童」ではなく、「**児童⇄児童**」の授業展開

☆「**伝えずにはいられない**」「**聞かずにはいられない**」状況をつくる。

(3) めあてと振り返りのある授業（学習内容の明確化、習得の実感）

☆1時間の授業で「**何ができるようになったか**」を重視

☆「**活動あって学びなし**」とならない授業

【授業力アップ10か条】

- ① 明快かつ綿密な指導案（指導計画）を作成すること。
 - ・実態把握→教材分析→学習指導要領解説→「主体的・対話的で深い学び」の観点
 - 付けたい力の明確化→学習指導案作成
- ② ねらいに沿った授業コーディネートを行うこと。
 - ・学びの4つのステージ「つかむ・自力解決する・深める・まとめる」を意識した授業展開
 - ・ねらいに即してまとめに至る達成感のある授業・その学習に適した学習環境や形態
- ③ 学習規律の確立をすること。（姿勢、返事、話し方、時間を守る）
- ④ 主体性を重視しつつ、教えるべき事をきちんと教えていること。
- ⑤ 実態に即して、自主性と教える量や質の調整ができること。
- ⑥ 指導と評価の一体化を意識していること。
 - ・思考を促す適時適切で効果的な語りかけ・切り返し・褒め言葉
 - ・褒めるチャンスと正すチャンスを逃さない。
- ⑦ 授業の中に快いリズムがあること。
 - ・45分間が一つのストーリー、スムーズだがめりはりのある時間の流れをつくる。
- ⑧ 板書に授業の流れがいつでも見えていること。
 - ・電子黒板と通常黒板の有効な併用活用、各教師の板書記録の蓄積活用
- ⑨ 個を生かしつつ、集団のハーモニーの調和がとれていること。
 - ・児童同士、児童と教師の間の信頼関係が基盤になる（学級経営の充実）
- ⑩ 児童に達成感や充実感が見られること。

7 めざす保護者像 **子供への愛情にあふれる保護者**

5つの陣屋小保護者の自信と誇り

- じ 自分から挨拶をします。
- ん 本を読もう！親子で。
- や 約束を守る子供の見本になります。
- っ つなげよう！学校・保護者・地域の輪。
- こ 子供の話をしっかり聞きます。

8 めざす地域像 **自己実現に繋がる地域**

5つの陣屋小地域の自信と誇り

- じ 自分から挨拶をします。
- ん 本当に住んで良かったと思える地域にします。
- や 約束を守り、子供に安心・安全を提供します。
- っ つくります、地域コミュニティの場づくりを。
- こ 子供に愛着心を育む地域にします。

9 経営の重点・努力点

(1)「社会に開かれた教育課程」の実現

※保護者・地域と連携して教育活動を行う。(いろいろな大人から学ぶ)

- ① PTA 活動をスリム化し、**学校応援団活動へ移行**(子供と一緒に活動する機会を増やす)
(全校遠足見守り、スモールガーデン、親子清掃、読み聞かせ、図書、ミシン等の学習支援)
- ② **外部人材を活用**した学習活動
(租税教室、各種出前講座、非行防止教室、茶道・和太鼓クラブ等)

(2)新しい時代に必要となる資質・能力の育成

- ① **学級(学年)の枠を超える教育活動の推進**(いろいろな先生から学ぶ)
 - ・**教科担任制、学年内交換授業、習熟度や選択テーマ別のグループ編成、異学年交流**
- ② **基礎学力の確実な定着**
 - ・学力向上パワーアッププランに基づく授業実践(県教委による支援)
 - ・**学びの4ステージ**「つかむ・自力解決する・深める・まとめる」による授業展開
 - ・**期末テスト、都道府県名大会(名人賞)、陣屋っ子ノート(家庭学習賞)**の継続
- ③ **主体的・対話的で深い学びの構築**
 - ・**学習方略や非認知能力の向上**をめざした学校研究
 - ・「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
- ④ **にいざ GIGAスクール NEXT の実践**
 - ・**ICTを活用**した学習活動の充実(「Qubena」4～6年、ロイロノート)
- ⑤ **豊かな心と規律ある態度の育成**
 - ・個を大切にし、児童同士の関わりを深める学級経営の推進
 - ☆**子供の人権尊重**(体罰厳禁、適切な言動、「さん」付けの徹底)
 - ☆一人一人の「よさ」を積極的に認め、**肯定的な声掛け**を継続する
 - ・**異学年交流**の推進(学習での交流、縦割り班活動の充実)
 - ・**教室の環境美化と掲示教育の充実**(作品掲示をとおした異学年交流)

- ・学校図書館の活用と読書活動の充実
 - ・「5つの陣屋っ子の約束」の徹底(重点:あいさつ、返事、ろう下歩行)
- ⑥ 健やかな体の育成と体力向上
- ・体育授業、運動する機会の充実(運動好きな児童の育成、外遊びの励行)
 - ・健康な歯(虫歯治癒率85%以上を目指す)
 - ・食育の推進(地産地消・ガーデン給食・交流給食等)

(3)生徒指導・教育相談・就学相談活動の充実(不登校傾向、問題行動への適切な対応)

- ① 配慮を要する児童の情報共有、適切な指導の充実(児童理解研修の実施)
- ② 「いじめ防止基本方針」の徹底、児童アンケートによるいじめの早期発見・対応
- ③ 迅速で積極的な家庭との連携(面談の実施、電話連絡) 初期対応の重視
- ④ 欠席児童への連絡等の働き掛け
- ⑤ 関係機関との連携による不登校児童への組織的な対応
- ⑥ 適切な就学相談の実施(保護者面談、巡回相談等の利用、教育相談室との連携等)

(4)働き方改革・教職員の健康の保持増進

- ① 校務分掌組織の見直し(教科等部会の効率的な実施、業務負担の偏り軽減)
- ② 休憩時間の確保(しっかり休み、メリハリをつける) 45分間のまとめどり
- ③ 余剰時数の削減(5時間授業の設定)→会議や研修の時間にあてる
- ④ 業務の効率化(教材の共有、作品(図工、書写)コメントの廃止、ペーパーレスの推進)
- ⑤ ワーク・ライフ・バランスの実現(ノー会議デー(週間)、ふれあいデーの徹底)
- ⑥ 遅くとも19時退勤の徹底 超過勤務時間～全員月45時間以内をめざす

 未来を創る、こどもたち。

未来を育てる、わたしたち。

～ 未来への責任～